

平成15年度環境美化啓発作文 最優秀賞
「イルカとやくそく」

絵と文 太田小学校 3年 今野 暁雅



今日、海に行ったよ。
ぼくの好きなサーフィンをするためだよ。ぼくの名前は、ライ。サーフィンをやっていたらイルカが話しかけてきたよ。
「ライ、何やってるの?」
「サーフィンだよ。なんで、ぼくの名前を知っているの?」
「イルカのぼくは、なんでも知っているんだよ。ライは、さっきおにぎりを食べていたよ。そのおにぎりを包んでいたぶくろは、今どこにあるの?」

「やっきー!」と捨てたはずだよ。」と、言っただけでライはゴミばこの方を見ました。すると、ライの後ろにうかんできました。
「あれ、なんでだろう。」と、思って手をのばしたその時、「バクン」と、とつぜんあらわれたカメラに食べられました。
「だめだよ、すぐにはき出さなきゃ。それは食べ物じゃないから。」と、ライが言いました。
イルカが言いました。
「ぼくたちのなかまは、人間がすてたゴミをえさだと思って食べて、たくさんのおなかで死んじゃったんだよ。」と、言っただけでイルカがなきました。
しばらく考えました。
「よし、ぼくの友だちに言うよ。きたない海だったら、海の生きものが死んじゃうから、みんなできれいにしようって。」
ライとイルカはゆびきりをしました。イルカはなきやんで、えがおになりました。
それからライとイルカは、なかよくサーフィンをしました。

平成15年度環境美化啓発標語 最優秀賞
「花のある ぼくのまちには 人がくる」



山之上小学校3年 辻 宏治郎さん

この標語をつくるきっかけは、(ぼくが)毎日通っている通学路に、花がいっぱい咲いていて、花を見ると元気が出ると思ったからです。

そんなきれいなまちには、人はすんでみたいと思います。

花をうえる前に、ごみが落ちていたらひろう気持ちを持ってほしいです。ぼくたちがおとなになっても、すみやすいきれいなまちであるといいなと思います。

こどももおとなも、ぼくと同じ気持ちでくらししてほしいと思います。

平成15年度環境美化啓発作文 最優秀賞
「イルカとやくそく」



太田小学校 3年 今野 暁雅さん

ぼくの家族はキャンプが大好きで、毎年夏になると、海の近くの海岸でキャンプをします。

そのとき、思ったことをものがたりにしました。それは、以前キャンプに行ったとき、海にごみがいっぱいあってとても残念でした。

みんなの海を大切にしてほしいと思います。海は、人間だけのモノではないと思います。

ぼくの好きなイルカやカメラたち生き物の住みかでもあると思います。海だけでなく、ごみはすてないでほしいです。世界中のみんなが、ごみをださないでほしいです。

7 注) 環境美化啓発作文・標語の募集は、環境啓発の一環として市内の小・中学生などを対象に、まちを美しくする運動推進会議が行っています。